

卓越した技能者

氏名 (年齢)	職名	団体名・現住所	功績の概要
石山 修司 (72歳) 	塗装工	有限会社石山塗装工業 函館市	塗装工として57年の長きにわたり技能の研鑽に努め、職業訓練指導員(塗装科)、1級塗装(建築塗装及び鋼橋塗装作業)技能士、2級建築施工管理技士などの資格を取得した。公共事業等の塗裝修繕など多くの実績があり、作業工程の繊細な作業、塗装技術は高い評価を得ている。特に函館市のマンホールの塗裝修繕工事におけるモチーフとなった特産の「いか」など、質感を表現するための技法は氏独自のものである。平成15年から12年にわたり北海道塗装工業協同組合理事、専務理事を歴任し、現在は監事、相談役として組合員の技術、地位向上と経営基盤の安定など、業界の発展に尽力している。
海老 祐司 (59歳) 	調理人 (中国料理)	中国料理侑膳 札幌市北区	大阪あべの辻調理師専門学校卒業後、東京赤坂四川飯店に入社。四川料理の師と言われた故・陳建民氏に師事し四川料理の技法を学んだ後、25歳で単身香港にわたり、当時香港一と言われた福臨門酒家にて広東料理や点心を習得し、平成12年より、中国料理侑膳を開店した。氏が独自に研究・開発した豆板醬は他店の調理師が学びに来店するほど評判となっている。後進の指導育成にも積極的で、平成18年より光塩学園調理製菓専門学校の非常勤講師を勤めるほか、市内各調理師専門学校から研修生を自身の店に広く受け入れ、本場の調理技術を伝え、さらには平成23年には日本中国料理協会会長表彰(功績賞)を受賞するなど、全国での評価も高く、道内の中国料理人の調理技能の発展に寄与している。
奥野 泰隆 (59歳) 	造園工	株式会社緑建産業 旭川市	昭和57年より造園工として40年にわたり造園業務に従事し、1級造園技能士等の資格を取得し、確かな技術力を基に数多くの造園工事を施工。豊かな感性を活かし作られた庭園は、洗練されスタイリッシュで魅力的なものである。また、ガーデニングブームの先駆けとなる提案型の展示場を自社の敷地に設け、修景的な門扉、自然石舗装の開発、サウナ小屋を取り入れる等新しい庭造りを提案し、高い評価を得ている。多種多様な要望に対応できる知識と技術は、環境に配慮した庭づくりにおいても大いに発揮され、平成25年には(社)日本造園組合連合会より「優れた緑の技能士」顕彰を受けた。平成10年以降、技能検定補佐員、技能検定委員を務め、後進の育成に尽力しているほか、道北造園建設業協会の会長として、造園業界のリーダーとして活躍している。
金子 賢司 (53歳) 	とび工	株式会社鈴木工業 苫小牧市	昭和63年よりとび工に関わる工事に広く従事し、1級とび技能士取得など自身の技術研鑽の傍ら平成21年に北海道鷹技能競技大会優勝などの優秀な成績を収めている。また、全国各地の発電所建設・解体及び定期点検工事などに職長として数多く従事したほか、道内では毎年苫東厚真発電所や知内発電所、伊達発電所など様々な発電所での定期点検工事に従事し、平成30年胆振東部地震によるブラックアウト発生の際は、苫東厚真発電所4号機復旧工事を総計50名の作業員を職長としてまとめ上げ、最大限尽力し電力復旧に貢献した。また、若年作業員の指導育成にも力を入れており、20年以上にわたり延べ18名に技能検定試験実技指導を行い、全員を1級とび技能士合格に導くなど、後進指導の育成にも尽力している。

氏名 (年齢)	職名	団体名・現住所	功績の概要
工藤 泰子 (74歳) 	婦人・子供服 仕立職	工藤洋裁教室 南幌町	<p>昭和52年より洋裁教室を開設、主宰として後進技能者の育成指導に尽力し、技能検定合格者を合計233人輩出。平成22年から注文服・パターン技能検定の検定補佐員・検定員を務め、事前講習の指導に携わるほか、平成22年に婦人子供既成服パターンメイキング1級を道内で初めて取得後、平成28年には全技連マイスター(婦人子供服製造)に認定され、大学や就労継続支援施設で指導し、技能五輪出場者を輩出した。平成30年からは札幌婦人洋装組合の組合長を務め、毎年開催されている札幌技能フェスティバルに参加する等、後進の育成に関する活動は多岐にわたっている。また、平成27年の全日本洋裁技能コンクールでは日本商工会議所会頭賞を受賞するなど、業界の評価は極めて高いものがある。</p>
國枝 恭二 (64歳) 	型わく工	株式会社帯建工業 帯広市	<p>昭和52年に家業である(有)帯建工業に入社以来、45年にわたり型枠建築一筋に技能・技術の研鑽に努め、1級型枠施工技能士、2級建築士など多くの資格を取得した。特に曲面・変形型枠製作の技能に秀でており、業界内でも絶大の信頼を得ている。平成11年からは帯広高等職業訓練校や、北海道型枠工事業協同組合十勝支部主催の技能訓練の講師などを務めるほか、新規採用者についても、自社採用者だけでなく、同業者の新規採用者も受け入れ、円滑に働けるよう、一連の訓練・教育を行っている。現在、帯広地方職業能力開発協会副会長等を務めるほか、建設業における躯体工事業全体の今後を見据え、平成25年に「躯体専門工事業業界再興プロジェクト連絡協議会」を設立し、十勝管内のみならず釧路管内の同業者とも連携した活動を行い、地域の技能水準の向上と技能者の地位向上に大きな役割を果たし、業界発展に貢献している。</p>
小峯 健 (48歳) 	調理人 (日本料理)	株式会社アイチ 札幌市東区	<p>北海道調理師専門学校を卒業後、平成5年に日本料理界に入職し、以降日本料理一筋に技能と知識の研鑽を積み、平成12年には北海道日本調理技能士会主催の第4回日本料理技能コンクールにて北海道知事最優秀賞を受賞するなど、調理技術の向上に対する功績も顕著である。現在は医療法人愛全会(株)アイチにて執行役員副総料理長として、献立作成、調理業務、管理業務に従事し、創意工夫を重ねた高齢者向け調理法を考案している。また、札幌ベルエポック製菓調理ウェディング専門学校や他団体のフグ処理責任者養成講習会講師を務めるなど、後進の指導育成に尽力。平成27年には専門調理食育推進員に認定されるなど本道における調理技能士の社会的な地位や技術の向上に大きく貢献している。</p>
佐々木 仁 (70歳) 	大工	株式会社佐々木建設工業 別海町	<p>建築大工として53年間の経験と現場作業一筋の技術者で、1級土木施工管理技士、1級建築施工管理技士、職業訓練指導員(建築)、2級建築大工(大工工事作業)技能士など多くの資格を取得した。長年培ってきた経験を活かし、従来の外断熱工法にさらに断熱材を重ね合わせるなど、住宅の断熱性能を高める施工技術などを駆使し、「長く住める家」「暖かい家」作りの技術については卓越した技能を持つ。中標津職業訓練校の職業訓練指導員として訓練生の育成に努め、後進技能者の育成にも尽力している。また、別海町技能士会の会長、副会長、理事を現在まで28年間歴任し、北海道技能士会の理事を3年間務め、役員として長年事業運営に尽力したことが評価され、全国技能士会連合会会長表彰を受賞するなど、全国的にも評価されている。</p>

氏名 (年齢)	職名	団体名・現住所	功績の概要
高崎 正人 (61歳) 	塗装工	有限会社タカサキ塗装工業 苫小牧市	<p>昭和55年、父と同じ塗装の道を選び(有)タカサキ塗装工業に塗装工として勤務し、精励克己を重ね1級塗装(建築塗装)技能士や職業訓練指導員(塗装科)の資格を取得し、現在は代表取締役社長として現場の指揮監督を行っている。長年にわたる豊富な知識と経験に基づいて現場の状況を的確に把握し、仕上がりの向上に努め、高い評価を得ている。建築業界は厳しさが増しつつある情勢ではあるが、新たに高まる社会需要に適切に対応し時代に取り残されぬよう絶えず新しい情報に関心を寄せ、技能習得の手助けや職業人としての心構えを伝承するほか、技能検定補佐員・技能検定委員を務めるなど、人材の育成に貢献している。</p>
千葉 浩道 (62歳) 	写真工	有限会社千葉スタジオ 北見市	<p>昭和56年、東京工芸大学短期大学部写真技術科卒業後、名門(株)有賀写真館銀座本店に入社し技術の研鑽に努め、昭和60年に家業である写真の千葉に入社。富士フィルム営業コンテストなど数多くの写真コンテストでの受賞歴があり、平成30年9月には道内では5人目の全技連マイスターの写真部門に認定され、その技能は業界随一である。また、オホーツクエリア若手写真家の勉強会における指導のほか、きたみ技能まつりや旭川技能フェスティバルには写真マイスターとして参加し、後進の指導育成に尽力し、業界の発展に大きく貢献している。</p>
林 郁雄 (66歳) 	造園工	株式会社林造園土木 音更町	<p>昭和62年から造園一筋に技術・技能の習得・研鑽に励み、1級造園技能士、2級土木施工管理技士などの資格を取得した。平成4年に起業、造園の理論と技術は業界随一といわれる理論家として、緑を大切にしたい地域づくりに大きく貢献し、平成26年には技能の優秀さ・知識の豊富さが高く評価され、ものづくりマイスター(造園)として認定された。十勝植木造園組合理事・副理事・理事長を歴任し、現在は顧問として組合運営・地域の造園業界発展に大きく貢献している。平成27年から6年間、技能検定補佐員を務めたほか、音更高校造園コースの指導や、帯広刑務所の受刑者への造園技能訓練・技能検定を実施するなど、技能士の育成に尽力をしている。</p>
水島 孝 (72歳) 	とび工	株式会社水島組 旭川市	<p>昭和44年に家業である水島組にとび工として入社、以来53年の長きにわたり技能の研鑽に努め、1級とび技能士や職業訓練指導員(とび科)など数多くの資格を取得した。クレーンの入れない狭い場所での鉄製煙突の取替工事や100mを超える電波塔の工事、道路拡張工事におけるブロック倉庫を基礎ごと移動する曳家工事など重量物の移動に関する工事においては業界の中でも一目置かれる存在である。現在は同社取締役会長に就任しているほか、旭川鳶土工事業組合相談役も務めている。技能講習では講師として豊富な経験と卓越した技能を活かして後進の育成にも力を注いでいる。平成15年からは技能検定委員等を務め、後進技能者の指導育成に尽力している。</p>

氏名 (年齢)	職名	団体名・現住所	功績の概要
若松 宏佳 (66歳) 	塗装工	株式会社三洋 旭川市	<p>昭和46年に(株)三洋塗装工務店へ塗装工として入社以来、51年にわたり塗装業務に従事する中、塗装の新工法、新技術の習得に励み、各種の補修工程を熟知し、特に外壁の劣化に対する最適な工法の選択と下地処理の技術・技能は業界から高い評価を得ている。技能の研鑽にも努め、職業訓練指導員(塗装科)、1級塗装(建築塗装・鋼橋塗装)技能士など多くの資格を取得した。平成2年から17年間、旭川認定高等職業訓練校建築塗装科の講師として、多くの訓練生の養成に尽力し、平成19年からは技能検定委員等を務めるほか、平成26年にはものづくりマイスター(塗装・路面標示施工)として認定され幅広く活躍している。</p>